

**日本王者・菊井徹平、大差判定勝ちでタイトル初防衛に成功！**

8月14日(月)後楽園ホールで行われた日本スーパーフライ級タイトルマッチ。チャンピオン・菊井徹平VS挑戦者(WBC世界同級7位)・有永政幸選手(大橋)の一戦は開始ゴング直後の先制攻撃で優位に立った菊井がその後も右ストレート、左フックを中心とした攻撃で有永選手を翻弄。9回には左フックでダウン寸前まで追い込む見せ場も作った王者・菊井が3 - 0(100-90・100-91・99-92)の大差判定勝ちでWBC世界7位の有永選手を下してタイトル初防衛に成功した。尚、ジムとしては今回、菊井の初防衛成功により1998年9月5日星野敬太郎が日本ミニムム級タイトルV5を達成以来、世界、日本合わせて約8年ぶりのタイトル防衛成功となった。世界ランク上昇濃厚な王者・菊井は(27歳)25戦21勝4KO4敗。一方、王座奪回ならずの有永選手(28歳)は27戦21勝10KO5敗1分。菊井の次回防衛戦は来年2月12日(月=祝)後楽園ホールでチャンピオンカーニバル(同級の再上位にランクされる日本のジム所属選手との対戦)としてのタイトルマッチとなる。

**WBA世界5位・木村章司、日本タイトル再挑戦正式決定！**

WBA世界スーパーバンタム級5位(元日本同級チャンピオン)・木村章司(29歳=21戦19勝7KO1敗1分)が山中大輔選手(白井・具志堅=25歳=21戦19勝14KO2敗)が持つ日本スーパーバンタム級タイトルに10月9日(月=祝)後楽園ホールで挑戦する事が正式に決定した。木村にとっては当時日本王者だった昨年9月、トップコンデンター・福原力也選手(ワタナベ)に判定で破れて以来、約1年ぶりに王座奪回のチャンス。王者(WBA同級8位)・山中選手は木村を下した福原選手を今年6月、9回終了TKOで下したKO率80%近い強豪だが、ここは木村の高いスキルを見せての王座奪回劇を大いに期待したい。

尚、この試合はWBC世界L・フライ級暫定タイトルマッチ(ワッティ選手VS嘉陽選手)のセミファイナルで行われる。

**[テレビ放映]フジテレビで当日深夜録画放映 CS放送フジテレビ739で実況生中継**

**試合結果(06年8/16迄)**

**田畑、鎌田惜しくも東日本新人王トーナメントベスト4進出ならず・・**

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
7月13日(木)後楽園	6回戦・ウェルター級	<b>和田 直樹</b>	6回判定負け	井上 庸(ヤマグチ土浦)
・A級昇格資格王手の和田。後半懸命な反撃でポイントを取ったが前半での激しい打撃戦の中での失点が響き、一歩及ばず0 - 3の判定負け。6勝1KO3敗				
7月17日(月)新宿	8回戦・Sバンタム級	<b>池田 光正</b>	6回TKO負け	三浦 数馬(ドリーム)日本8位
・初の日本ランク奪取を狙う池田。相手の右アッパー、ストレートに対し、接近戦からのボディークン攻撃で応戦したが防御の差が出てしまった。13勝9KO9敗3分				
7月24日(月)後楽園	4回戦・フェザー級	<b>山形 英輝</b>	2回TKO負け	ズリ・カンナン(レイスポーツ)
・デビュー戦の山形。初回、いきなりダウン応酬の激しい展開になったが2回、ロープに詰まって連打されたところで、やや早目のストップをされてしまった。1敗				
8月2日(水)横浜	4回戦・64.5Kg契約	<b>須山 草平</b>	4回判定負け	武田 浩佑(協栄)
・2勝目が欲しい須山。亀田世界戦前座の大舞台でパンチを良くまとめていたが、相手の一発で急に劣勢になる場面があり惜しい10 - 3の判定負け。1勝6敗				
8月10日(木)後楽園	4回戦・56.5Kg契約	<b>田村 啓</b>	4回判定負け	八島ヨシハル(ジャパンスポーツ)
・6回戦王手の田村。終始打ち合いの好ファイトの中、有効打で勝っていたように見えたが、手数と見栄えの差から惜しい10 - 3の判定負け。3勝1KO8敗1分				
8月14日(月)後楽園	4回戦・Sフェザー級	<b>中川 健司</b>	4回判定勝ち	樋上 正径(コパン星野)
・花形ジム移籍後の初戦となった中川。KO率100%の相手に約1年ぶりの実戦を感じさせず、終始攻めきる内容で3 - 0の判定勝ち。5勝2KO1敗				
8月14日(月)後楽園	<b>日本タイトルマッチ</b>	<b>菊井 徹平</b>	10回判定勝ち	有永 政幸(大橋)WBC7位
・4月の相澤(当時WBC6位)戦に続いて世界ランカー相手に好内容で連勝した日本王者・菊井。いよいよ世界タイトルも射程距離に入ってきた。				
8月16日(水)後楽園	東日本新人王トーナメント	<b>田畑 光輝</b>	引き分け(敗者扱)	福永 真也(白井・具志堅)
・ベスト4入り狙う田畑。攻守が目まぐるしく変わる激しい打ち合いに終始も、最終回ラスト10秒で打ち込まれたのが響き、引き分け敗者扱いに。5勝2敗3分				
8月16日(水)後楽園	東日本新人王トーナメント	<b>鎌田 剛幸</b>	4回判定負け	藤井 智徳(ヨシヒロ)
・ベスト4入り狙う鎌田。決定打は打ち込めずも、やや優勢に試合を進めていた鎌田だったが、最終回痛恨のダウンを喫し、0 - 2の判定負け。5勝3敗2分				

**試合予定**

**田村啓(9/10)、伊藤圭太(9/17)、B級(6回戦)昇格狙う！**

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
9月4日(月)	後楽園ホール	<b>並木 雄介</b>	1戦1分	4回戦	スーパーフライ級
同	同	<b>大平 剛</b>	1戦1分	4回戦	ライトフライ級
9月10日(日)	結城市かなほ総合体育館	<b>田村 啓</b>	12戦3勝1KO8敗1分	4回戦	56.0kg契約
9月17日(日)	つくばカピオ	<b>伊藤 圭太</b>	7戦3勝1KO3敗1分	4回戦	スーパーバンタム級
同	同	<b>入江 一哉</b>	2戦1勝1KO1敗	4回戦	スーパーバンタム級
同	同	<b>中野 敬太</b>	1戦1敗	4回戦	バンタム級
10月9日(月=祝)	後楽園ホール	<b>木村 章司</b>	21戦19勝7KO1敗1分	10回戦	<b>日本Sバンタム級タイトルマッチ</b>